



はじまるだより

2026年1月30日
(1月号)
第137号

中土 地ダ 方ム 地管 整理 備理 局所

令和8年 土師ダム年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年はダム管理開始50周年を迎えた、2月には記念式典ならびに記念シンポジウムを開催し、移転者の皆様や地元関係者の皆様をはじめ多数のご臨席を賜り、土師ダムがこれまで果たしてきた治水・利水などの役割に対し、感謝のお言葉をいただきました。これからも地域の皆様の安全・安心を確保できるよう、適切なダム管理に努めるべく職員一同、気持ちを新たにしたところです。

昨年のダムの管理運用につきましては、洪水調節を行うような出水はありませんでしたが、6月末の記録的に早い梅雨明けに伴い、江の川流域においても渴水傾向が続き、8月には取水制限が行われることになりました。また、ダム貯水池では長期間にわたりアオコが大量発生するなど例年ない現象が起きました。気候変動による異常気象の影響は、洪水だけでなく渴水や水質においても顕著となっていることを実感した年となりました。

昨今の激甚化、頻発化する洪水や渴水に対応するうえでダムは重要な役割を担つており、土師ダムは、事前放流や洪水時の下流への放流量低減など流域治水の役割を担うほか、ハイブリッドダムの取組の一環としてダム運用の高度化に取り組んでおり、流域総合水管理の推進に貢献しています。今後もダムの役割を十分果たせるよう施設の老朽化対策を進捗させるとともに、記念シンポジウムで提案いただいたダムを活用した地域振興の取組を進めてまいります。本年も引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りま

土師ダム管理所長
片寄 秀樹



地震速報TV画面 ↑

↓ 臨時点検状況(堤体内外点検)



地震発生時の臨時点検を行いました

1月6日10時18分に島根県東部を震源とする震度5強【マグニチュード6.2(速報値)】の地震が発生し、管内でも震度4を観測しました。

これにより管理所では注意体制を執り、10時50分よりダムの臨時点検を開始しました。①電気設備・放流設備、②堤体内外点検、③地山周辺の3班に分かれて各班2名計6名で行い、11時50分 臨時点検を完了し、異常が確認されなかつたことから、12時10分に注意体制を解除しました。

土師ダムでは年に一度、地震・津波対策訓練を実施しており、当日は慌てるごとなく迅速に地震対応を行うことができました。

いつ起こるか分からぬ巨大地震に備えて、適切なダム管理を行うことができるように、今後も万全の備えをしていきます。

土師ダムのリアルタイムの貯水位や流入量・放流量など詳しい情報はこちら

川の防災情報 <http://www.river.go.jp>



土師ダムの貯水位状況について

江の川流域では冬季の降水量が少なく、昨年から渴水傾向が続いている。土師ダムの1月9日の貯水位は、標高243.51mと昨年末の12月26日の水位である標高242.81mと比べて70cm高い貯水位となり、若干の回復傾向にあるものの、昨年同時期と比べると、1.98m低い貯水位となっています。これから春に向けて水が必要になる時期となりますので、節水にご協力をお願いします。



呉高専の貯水池水質観測について

1月9日に呉工業高等専門学校環境都市工学科の黒川教授と学生5名がダム貯水池の水質観測のため来所されました。水質観測は、超音波を利用した計測機器により貯水池内の流向や流速を観測し、ダム湖水質の研究データを収集することを目的に行われています。

学生の皆さん、午前と午後に分かれて巡回船に乗船して観測作業を行い、作業の合間にはダムの放流施設や堤体内を職員の案内で見学し、その後は土師ダムと国交省の道路パトロールカーのペーパークラフト作りをしていただきました。綺麗に完成したペーパークラフト作品は管理所事務室前に飾らせていただいています。



八千代湖の水質 (12月)

土師ダム湖心の水質 (mg/l)

環境基準	COD(全層)		総窒素(表層)		総リン(表層)	
	3.0		0.43		0.018	
11月	2.8	○	0.59	×	0.017	○
12月	2.3	○	0.37	○	0.012	○

ダム周辺の観光客数 (1月)

令和8年1月 2,565人

国土交通省中国地方整備局 土師ダム管理所

広島県安芸高田市八千代町土師369-24

TEL : 0826-52-2455

E-MAIL : haji@cgr.mlit.go.jp

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/haji>

X (旧Twitter) : @mlit_hajimaru

